



アスウィル エアークッション・メーカー／エアークッション・メーカー バブル 専用

ペーパーエアークッション エコクラフト

品番 PAC100 / PAC120 / PACA100 / PACA120

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

ご注意――

●この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

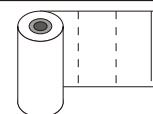
△ ご使用上の注意

- エアークッション・メーカーの取扱説明書の注意事項をお守りの上、ご使用ください。
- 直射日光の当たらない所に保存してください。

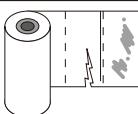
エアークッション製作の仕方 詳しくはエアークッション・メーカーの取扱説明書をご参照ください。

故障の原因になるため、絶対にお守りください

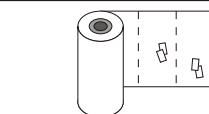
使用禁止物を
加熱ローラーに
挟まないでください



当社指定フィルム以外のフィルムや物



破れていたり汚れているフィルム



袋内部に異物が入っているフィルム



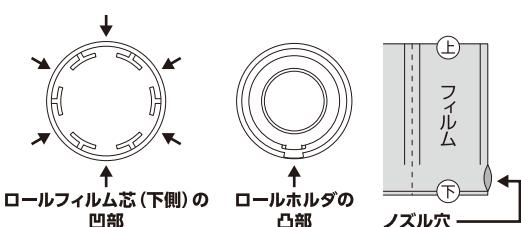
使用済みフィルムの再利用はしない

1 エアークッション・メーカーの電源スイッチを「入」にしてください。

●レディランプが緑色に点滅し、電源ランプが赤色に点灯してウォームアップを開始します。

2 本体のロールホルダに製作したいロールフィルムを正しく設置してください。ロールホルダの凸部とロールフィルム芯の凹部を合わせて固定してください。

●フィルム最下部に送風ノズル挿入用のノズル穴が開いていていることを確認してください。



3 レディランプが緑色に点灯するまでお待ちください。

●ウォームアップが完了するとレディランプが緑色に点灯してクッション制作準備完了をお知らせします。

4 ファンボリュームを適切な位置に回してください。

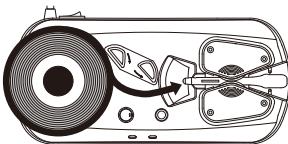
●空気量の目安はロールフィルムとノズルの間に1個分の空気が入る量を限界とし、風量はなるべく抑えて設定してください。

●空気量が足りないとエアークッションは緩衝材としての機能が低下しますが、ファンボリュームを強くしすぎると緩衝材製作に失敗する可能性があります。

●空気量が多すぎるとロール部まで空気が注入されてしまい、フィルムの送り速度に影響が出ます。空気量を調整して空気量を減らしてください。

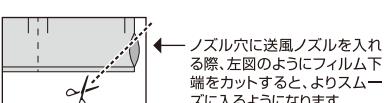
ファンボリュームの設定位置は別紙「ファンボリューム推奨設定表」をご参照ください。※推奨値から大幅に外れた値で製作するとフィルム詰まりや圧着不足、機械の故障等を招く恐れがあります。

5 フィルムゲートを通さず、ロールフィルムから直接ノズルへ紙緩衝材を伸ばしてください(右図参照)。



6 フィルム最下部の送風ノズル挿入用のノズル穴を広げ、送風ノズルが入りやすいようにしてください。

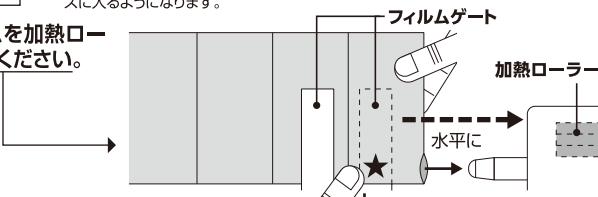
●穴の部分をこすることでノズル穴が広がりやすくなります。



7 フィルムのノズル穴に送風ノズルを挿入し、図の★の位置を下に押さえながらフィルムを加熱ローラー部まで水平に引っ張り、フィルムが加熱ローラーに巻き込まれる位置までもってきてください。

●加熱ローラーに巻き込まれる位置までフィルムを水平に引っ張ってください。

●加熱ローラー部、加熱ローラーカバー部等は高温になっております。触らないようにしてください。



8 ACM03/ACMA03をご使用の場合は以下を行ってください。

スピードコントロールを適切な位置に回してください。

●スピードコントロールで速度を調整します。

●速度が速すぎると熱圧着がうまくいかず、緩衝能力が低下する可能性があります。スピードコントロールを調整して速度を遅くしてください。

●速度はモーターが止まらない範囲でなるべく低速で実施してください。

スピードコントロールの設定位置は別紙「スピードコントロール推奨設定表」をご参照ください。※推奨値から大幅に外れた値で製作するとフィルム詰まりや圧着不足、機械の故障等を招く恐れがあります。

9 スタート/ストップボタンを押してください。

●加熱ローラーが回転を始めます。●ファンボリュームが適切な位置にあることを確認してください。

●ACM03/ACMA03をご使用の場合はスピードコントロールが適切な位置にあることを確認してください。

10 フィルムが加熱ローラーに挟まれ送り出され、同時に空気が排出されたことを確認してください。

11 ファンボリュームを微調整しながらエアークッションを製作してください。

製作を止める時

12 製作中の機械をいったん停止するために、スタート/ストップボタンを押してください。

●機械が停止していること、空気が排出されていないことを確認してください。●ACM03/ACMA03をご使用の場合は加熱ローラーが開いていることを確認してください。

13 フィルムゲートと加熱ローラーの間あたりにあるロールフィルムのミシン目に沿ってクッションを切り離してください。

14 フィルムを完全に加熱ローラーから排出させるために、再度スタート/ストップボタンを押してください。

●加熱ローラーが回転し、フィルムが完全に排出されたことを確認してください。●長時間フィルムが加熱ローラーに挟まった状態にしておくと、フィルムが溶けて出火や故障の原因となります。速やかにスタート/ストップボタンを押してフィルムを完全に排出してください。●フィルムが加熱ローラーに巻き付いてしまい、加熱ローラーが回転していてもフィルムが排出されない時は電源スイッチを「切」にし、一定時間おいて加熱ローラー部、加熱ローラーカバー部の温度が十分冷えた後に引き抜いてください。●ACM03/ACMA03をご使用の場合はスピードコントロールを調整してからスタート/ストップボタンを押してフィルムを完全に排出してください。

15 排出後にスタート/ストップボタンを押して加熱ローラーとファンを止めます。

16 電源スイッチを「切」にし、本体からロールフィルムをはずしてプラグを必ず抜いてください。

●ACM03/ACMA03をご使用の場合はスピードコントロールを「0」に設定してから電源スイッチを「切」にしてください。



ファンボリューム推奨設定

	ACMO1		ACMO2		ACMO3	
	最小	最大	最小	最大	最小	最大
PAC100	6	8	3.5	4.5	3.5	4.5
PAC120						

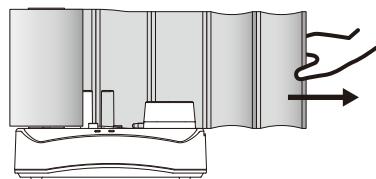
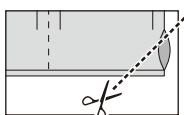
※機械のばらつきによっては推奨値でモーターがロックするなどあります。その場合はファンボリュームを少なくしてください。(ACMO3の場合は若干スピードコントロールを上げてください)
※ボリューム、スピードは安定した搬送と溶着ができるようになるべく最小に近い値で設定してください。

スピードコントロール推奨設定

	ACMO3	
	最小	最大
PAC100		
PAC120	4.5	6

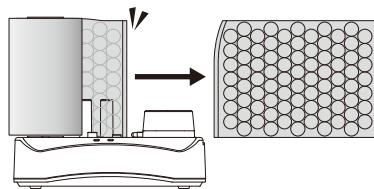
ご使用上の注意

- ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 環境に配慮した商品のため荷重が常にかかる場所では空気が漏れやすくなっています。荷重が常にかかる場所には設置しないでください。緩衝能力が低下します。
- 高温多湿の場所での保管はやめてください。紙にしわ等が発生し、空気が抜けることがあります。
- 水にぬれた場合破れやすくなります。水気にご注意ください。
- 推奨値内でファンボリューム、スピードコントロールを設定してください。推奨値内の中でもファンボリュームはなるべく低く設定してください。機械のばらつきによっては搬送に失敗する恐れがあります。
- 搬送に失敗する場合は風量を下げフィルムゲートに通すと安定する場合があります。
- ノズルが摩耗した場合搬送能力が落ちる可能性があります。
- フィルム下端をカットしてから送風ノズルに挿入してください。
送風ノズルにフィルムが引っ掛かりにくくなります。



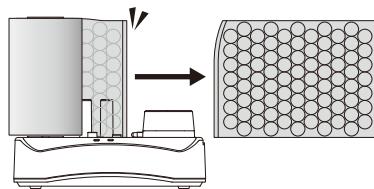
- エアークッション製作開始時に加熱ローラー出口側でフィルムが詰まつたり、ローラーに付着する場合は、手でエアークッションを引っ張るなどアシストしてください。

フィルムがローラーに巻き込まれにくくなります。



- 製作後にクッションを切り離す際、フィルムゲートと加熱ローラーの間でクッションを切り離し、エアークッションが完全に加熱ローラーから排出されるようにしてください。

フィルムの溶け残りやローラー汚れが起こりにくくなります。



メンテナンスについて

- ◆安定したエアークッション製作のため、エアークッションフィルムを高温にて熱圧着します。そのため加熱ローラーにフィルムのカスが付着する恐れがあります。
- ◆取扱説明書をお読みいただき、使用後はこまめにメンテナンスをしてください。
- ◆フィルムのカスが加熱ローラーに付着した状態で、エアークッション製作を行うとフィルムが機械に巻き込まれてしまう場合があります。慌てずに加熱ローラーからフィルムを排出し、下記の「加熱ローラーのお手入れの仕方」に従ってお手入れをしてください。
- ◆電源を入れると、加熱ローラーは高温になります。絶対に手を触れないでください。

加熱ローラーのお手入れの仕方

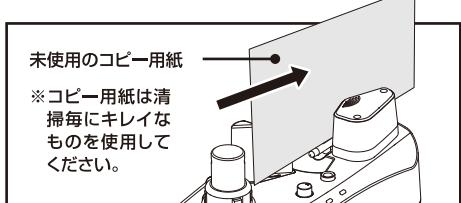
用意するもの

未使用のコピー用紙／ドライバー／乾いた布など

長時間使用すると加熱ローラーにフィルムの汚れが溜まり、詰まりの原因になります。定期的に加熱ローラーの清掃をお願いします。

【普段のお手入れ】

エアークッション製作後、レディランプ点灯中に、未使用的コピー用紙を加熱ローラーに数回空通して下さい。



③巻き付いたフィルムがある場合は取り除いてください。

④電源が切れていることを確認した後、スタート/ストップボタンを押しながら電源スイッチを「入」にしてメンテナンスマードを起動してください。

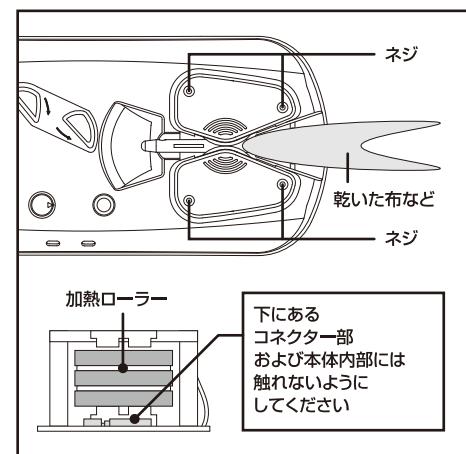
電源ランプとレディランプが交互に点滅してメンテナンスマードに入るまでスタート/ストップボタンを押し続けてください。

⑤ローラーが回転していることを確認した後、右図のように本体後方からローラーに柔らかい乾いた布などを押し当て、ローラー表面のカス、汚れを除去します。

※絶対に本体前方から布を当てないでください。加熱ローラーに巻き込まれて危険です。

⑥メンテナンス終了後は加熱ローラーカバーをつけなおし、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

※メンテナンスマードでのローラーの回転は15分で止まります。継続してメンテナンスをする場合は④に戻ってください。エアークッションを製作する場合は電源を切った後、再度電源を入れてください。



※電源を切った後、再度電源を入れる時は、必ず1秒以上間隔を空けてください。

【ローラーの汚れがひどい時】

※以下はACMO1、ACMO2をご使用の際に行います。
ACMO3のメンテナンスマードは取扱説明書を参照してください。

- ①電源を切り、加熱ローラーが十分に冷えるまで待ちます。
- ②右図の4個のネジを外し、加熱ローラーカバーを取り外します。

★品番の英字の末尾にAがつく製品も、Aのない品番と同じ仕様となります(例: ACMO1とACMA01)。

- 製品についてお気づきの点がございましたら、カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。